

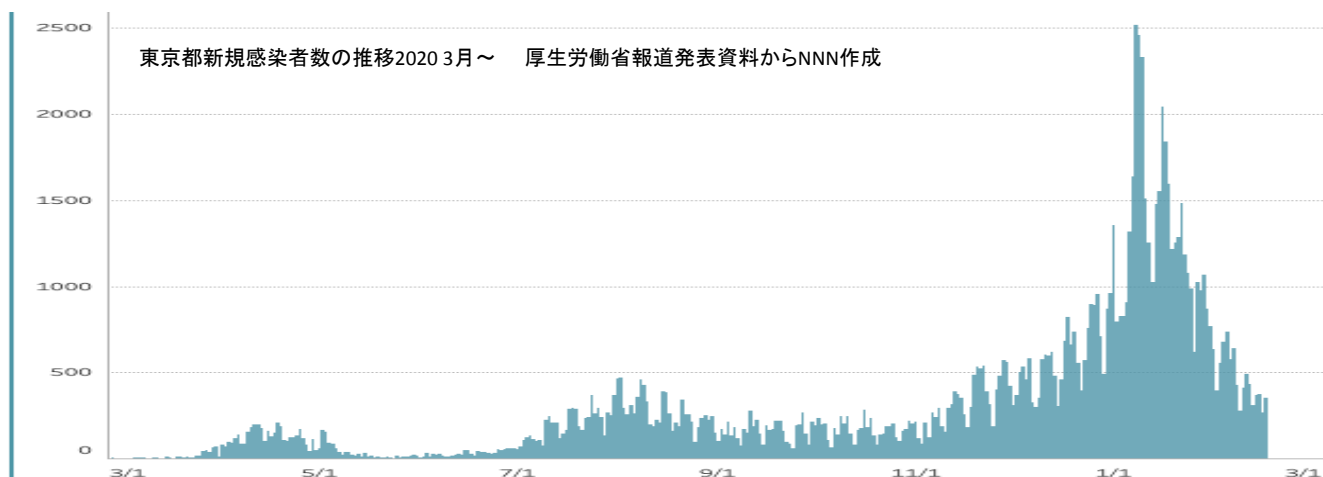
こんにちは日本語

新型コロナの世界的流行という、今世紀の人類の歴史に残る出来事に出会った2020年。本号は、この状態が一日も早く収束して活動が再開できるようにと願い、特別な年になってしまった今年度の記録として発行しました。(会報係)

2020年度運営係 活動記録

2021.2.15現在

日付	項目	活動内容
3/16	2019年度会計報告	2019年度の総会資料作成について、会計系の報告と確認調整
3/18~25	日ボラ再開時期検討	5/8(金)まで活動休止の連絡
4/14~15	奉仕園2019年度事業報告	2019年度ボランティア・学習者実績の集計連絡
4/21~22	TNVN第27回定期総会について	TNVNの総会はメール総会に変更、各議案の賛否依頼を決定
4/28	Zoom運営係ミーティング	日ボラ再開期日、再開の準備、2019年度総会について
4/29	日ボラ再開時期の連絡	8月末までの休止を決定
6/19	運営係ミーティング	対面学習再開の条件、オンライン学習、9月以降の再開についての結論
7/17	運営係ミーティング	アンケート結果より、12月末まで休止とし、2019年度総会はメール方式
8/7	2019年度メール総会案内の配信	2019年度活動報告と2020年度の活動について
9/5	水曜クラス運営係skype会議	オンラインで月例会が可能かのテスト実施
9/23	運営係ミーティング	10月月例会の開催方法についてアンケートをとるなど
10/14	水曜クラス10月月例会	You-Iホール 出席者14名、小嶋さん
10/16	金曜クラス10月月例会	セミナーハウス 出席者8名
10/28	水曜クラス運営係skypeミーティング	11月月例会の議題について
10/29	水曜クラス11月月例会のアンケート	1. 日ボラ再開時期 2. 11月月例会の出欠 3. 参加方法の確認
11/10	奉仕園とZoomチュートリアル	月例会のZoom参加者に参加方法や使い方について説明
11/11	水曜クラス11月月例会	You-IホールとZoom参加 出席者10名、Zoom5名、小嶋さん
12/9	運営係ミーティング	1月の月例会開催予定と4月再開時の問題点について
1/13	水曜クラス1月月例会	Zoomの参加者11名、小嶋さん、メール参加者11名
1/15	金曜クラス1月月例会	議題についての意見メール回答方式で実施。意見提出者 16名
3月前半	水金曜クラス月例会予定	Zoomによる会議予定





水曜クラスからひとこと



現在2名の学習者とZoomで授業を行っており、概ね好評です。オンラインなら国境を跨いでレッスンができ、補講も可能で、ある程度日程の自由が利き、教室では実施困難な聴解練習ができるなどの利点があります。(武藤)

昨年緊急事態宣言が発令され誰もが家時間が長くなった4月、学習者から「毎日退屈です」とメールが。それなら日本語を勉強しましょうか、とラインビデオ通話で週1回会話中心でしています。毎回あつという間の1時間です。(有田)

講談社treeのエッセイを教材に、6人の学習者と週1回、メールで読解学習をしています。「読解は初めてで新鮮」「自粛生活の大きな楽しみ」等という声に支えられ、昨年5月からこの3月末で44回の出題をします。(関口)

中国から訪問研究者として早大に滞在し8月にようやく帰国出来た上級者と3月から1週間に1回1時間程度の授業。私が準備した教材の読みの練習をしながら、それを基に広範に亘る話題について会話をしています。「日本語を話す機会がないので大変ありがたい」という感想を頂いています。(和田)

4月、医療従事者の娘が陽性。5月、移動自粛で十分な看取りもできず亡くなった山形の母。それでもコロナ禍による困難な状況にも日々の小さな気付きや喜びもあります。(峯田)

生活習慣も一変、教室も自粛でお手上げ状態となり、ボラ仲間の近況メール交換や本の回覧などが始まりました。私は自粛中の体調不良も皆さんとのやり取りで大いに救われ喜びを感じています。月例会等教室再開を模索される中、早く見通しがつくことを...(永山)

4月末頃からメールで文章題を出し、回答を添削する方法で、条件の整った2人の学習者と半年ほど勉強しましたが、元々会話クラスでしたので続きませんでした。他の学習者からも会話したいとの希望が多いです。(長岡)

「漢字を学ぶ」を方針にWeb上の自作教材を使って12月から平均3名でスタート。1名は帰国後も参加。小4配当字を毎週5字ずつ、字源や字義をつかみ、画像を見ながら例文3〜4で音訓読みをマスターするクラスです。象形・会意・形声などを理解し類似字と区別して使える力をつけるなど、深く広く漢字の基礎を理解して知っていることを納得するような学びを心がけています。(太田)

Tさんは中国より来日。昨年1月より行った日本語学校は緊急事態宣言で休校。ZoomではWiFi環境が悪く途中画面がストップ。彼曰く「対面だったらな」。結果携帯ビデオ・PC等で勉強を続け希望の専門学校合格。12月N2を受験、現在結果待ちです。(松本)

★ ★ ★ 金曜クラスからひとこと ★ ★ ★

ミャンマーの学習者3人にオンライン授業をしています。1人はミャンマー在住で「日本へ行きたい」と言っています。日本に暮らす2人はボランティア教室を思い出しながら、オンライン授業を楽しんでいます。1人は今年N1の合格を目指して頑張っています。

(伊藤 恵)

9月から開始して、月3回(1時間半/回)のペースで実施。日本文化・生活について興味があり知識も豊富と感じている。それを活かしながら、「日本語らしい自然な表現」を覚えてもらおうと思っている。生活に関連したテーマで、フリープラン旅行の上手な利用法・日本・韓国の結婚式の違い・偉大なるマンネリ映画、寅さんシリーズ等を楽しんでいる。

(中加)

急に授業が取りやめになり、学習者の日本語の勉強が気がかりです。

(中井)

ボランティア教室が休みに入る頃は、決まった学習者を持っていなかったのも、オンライン授業も特に考えず、現在は長い休暇を取っているという感じです。必要以外は外出も控え、毎日読書したり、海外ミステリードラマを見たりしています。

(松下)

2月まで「グローバル人材ってどんな人？」をテーマに一人ずつスピーチ発表をしていましたが、その後3人だけで同じテーマで文章を書き、私も書いて文集を完成させました。人、物、情報だけでなく、ウィルスまですごいスピードでグローバルに広がる時代、ネットで簡単に国境を越えられる時代に英語さえできればいいのか、そんなことを考えました。

(米田)

春休みでウクライナに帰国したまま日本に戻れなくなった学習者と週1でSkype授業。時差の調整が必要ですが、on-lineの利点を生かして楽しく続けています。

(伊藤久)



2020年2月26日(水)
休会になる直前の学習風景



★ ★ ★ 早稲田奉仕園専務理事 阿部 千秋 ★ ★ ★

皆さんお元気ですか。2021年、新しい年が始まりました。

今だ収束をみない新型コロナウイルスの感染拡大により、奉仕園の活動も自粛・縮小せざるを得ない状況が続いております。私自身もそうですが、運営係、ボランティアの先生、学習者、みんなが思い通りにいかないこの状況をとても悔しく残念な思いを持っていることでしょう。しかし同時に、こういう時だからこそ互いを思いやり、一人ひとりの力は弱くても、知恵をだし協力しあえばきっと新たな道が広がり希望につながるという思いを強く持っております。

以前と方法や形は違うかもしれませんが、きっとまた元気な声、たくさんの笑顔に出会えることを信じております。これからも一緒に頑張ってみましょう！

★ ★ ★ 再開を目指して 早稲田奉仕園 小嶋 極 ★ ★ ★

2020年2月28日金曜日。この日までは日ボラの学習を続けるはずでしたが、コロナの感染状況は緊迫感を増し、急遽クラスを中止することになりました。午後の柔らかい陽射しが奉仕園の中庭に届くころ、中止を知らずにやってくる学習者の方を運営係の皆様とベンチ付近で待ち受けていたのを鮮やかに思い出します。

あれからもうすぐ1年が経とうとしていますが、コロナの第3波といわれる状況で、収束には月単位どころか年単位の時間がかかることを痛感しております。

その間、日ボラがただ休止していたわけではなく、水金の運営係の皆様と休止期間や再開の方法などについて対面やオンラインでミーティングを重ね、何度か月例会も開かれました。8月には延期となっていた2019年度の総会をメールで開催しました。ボランティアの方の中には連絡がつく学習者とZoomやスカイプなどで学習を続けているとのお話を伺い、感謝の気持ちでおります。

失って気付く有難さ、スコットホールの2階で活気のある学習風景が繰り広げられていたことを思うと、集う人がいないスコットホールは寂しげです。今は再開、再会の思いを一つにし、人と人が出会い、繋がり、安心して集える居場所を取り戻せるよう力を蓄える時かもしれません。

日本語ボランティアの会が共に学び共に成長していく場として続いていくことを心から願っています。

<訃報>

梶村さんが2021年2月8日にご逝去されました。

梶村さんは当会の創設者であり、TNVNの代表としても日本語教育にご尽力されました。

また、今年4月からは東京都関連の新しい財団の理事として本格的に活躍される予定でした。

ご生前のご厚情に深く感謝すると共に、ご功績を偲び、心からご冥福をお祈り申し上げます。

この会報の配布方法として、2021年3月現在、休会が続いているため、メール配信をしました。

会報係 伊藤久美子・関口トシ子・峯 智子・薮下 洋子